

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 4 月 19 日 (2007.4.19)

【公開番号】特開 2005-260774 (P2005-260774A)
 【公開日】平成 17 年 9 月 22 日 (2005.9.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-037
 【出願番号】特願 2004-71969 (P2004-71969)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 D

H 0 4 M 11/00 3 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 3 月 5 日 (2007.3.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により送信する第 1 無線通信手段とを有する携帯型機器と、

前記携帯型機器から送信された撮影データを受信する第 2 無線通信手段と、前記第 2 無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段とを有する表示装置とを備える情報機器ユニットにおいて、

前記表示装置は、

ユーザによって操作される操作子と、

前記操作子が操作された場合に、前記第 2 無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記携帯型機器に向けて送信させる表示側制御手段とを備え、

前記携帯型機器は、

該携帯型機器を携えたユーザに危険が生じたことを検出する危険検出手段と、

前記第 1 無線通信手段が前記表示装置から送信された送信要求を受信した場合に、前記第 1 無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記表示装置に向けて送信させると共に、前記危険検出手段により、前記ユーザに危険が生じたことが検出された場合に、前記第 1 無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記表示装置に向けて送信させる携帯側制御手段を備える

ことを特徴とする情報機器ユニット。

【請求項 2】

撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により外部装置に送信する無線通信手段とを有する携帯型機器において、

該携帯型機器を携えたユーザに危険が生じたことを検出する危険検出手段と、

前記撮影データを送信すべき旨を示す、前記外部装置からの送信要求を前記無線通信手段が受信した場合に、前記無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記外部装置に向けて送信させると共に、前記危険検出手段により前記ユーザに危険が生じたことが検出された場合に、前記無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記外部装置に向けて送信させる制御手段と

を備えることを特徴とする携帯型機器。

【請求項 3】

前記危険検出手段は、

周囲の音を集音して音声データを出力する集音手段を備え、

前記音声データに所定の音声パターンが含まれているか否かに基づいて前記ユーザに危険が生じたことを検出する

ことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯型機器。

【請求項 4】

前記危険検出手段は、

前記ユーザの体動を検出する体動検出手段を備え、

前記体動検出手段により検出された体動に基づいて前記ユーザに危険が生じたことを検出する

ことを特徴とする請求項 2 に記載の携帯型機器。

【請求項 5】

外部機器から送信された撮影データを受信する無線通信手段と、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段とを有する表示装置において

ユーザによって操作される操作子と、

前記操作子が操作された場合に、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させると共に、当該送信要求に応じて前記外部機器から送信された前記撮影データを前記無線通信手段に受信させ、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて前記表示手段に映像を表示させる制御手段とを具備し、

前記ユーザの認証を行う認証手段を更に備え、

前記制御手段は、

前記認証手段により、ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させることを特徴とする表示装置。

【請求項 6】

撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により送信する第 1 無線通信手段とを有する携帯型機器と、

前記携帯型機器から送信された撮影データを受信する第 2 無線通信手段と、前記第 2 無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段、及び、ユーザの認証を行う認証手段を有する表示装置と

を備えた情報機器ユニットの撮影データ伝送方法において、

前記表示装置が、

ユーザによって操作される操作子が操作された場合に、前記第 2 無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記携帯型機器に向けて送信させる第 1 ステップと、

前記携帯型機器が、

前記表示装置から送信された送信要求を前記第 1 無線通信手段が受信した場合に、前記第 1 無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記表示装置に向けて送信させる第 2 ステップとを有し、

前記第 1 ステップにおいては、前記表示装置は、前記認証手段によって、前記ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記携帯型機器に向けて送信させる

ことを特徴とする撮影データ伝送方法。

【請求項 7】

撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により外部装置に送信する無線通信手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する携帯型機器の制御方法において、

前記撮影データを送信すべき旨を示す、前記外部装置からの送信要求を前記無線通信手

段が受信する第１ステップと、

前記認証手段により前記ユーザが正当なユーザであると判断されている場合に限り、前記無線通信手段によって前記送信要求が受信されたときに、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部装置に向けて送信させる第２ステップとを具備することを特徴とする携帯型機器の制御方法。

【請求項８】

外部機器から送信された撮影データを受信する無線通信手段と、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する表示装置の制御方法において、

前記認証手段により、ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記ユーザによって操作される操作子が操作された場合に、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させると共に、当該送信要求に応じて前記外部機器から送信された前記撮影データを前記無線通信手段に受信させ、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて前記表示手段に映像を表示させる

ことを特徴とする表示装置の制御方法。

【請求項９】

撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により外部装置に送信する無線通信手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する携帯型機器を制御するための制御プログラムにおいて、

前記撮影データを送信すべき旨を示す、前記外部装置からの送信要求を前記無線通信手段に受信させる手段、及び、

前記認証手段により前記ユーザが正当なユーザであると判断されている場合に限り、前記無線通信手段によって前記送信要求が受信されたときに、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部装置に向けて送信させる手段

として機能させることを特徴とする携帯型機器の制御プログラム。

【請求項１０】

外部機器から送信された撮影データを受信する無線通信手段と、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する表示装置の制御プログラムにおいて、

前記認証手段により前記ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記ユーザによって操作される操作子が操作された場合に、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させると共に、当該送信要求に応じて前記外部機器から送信された前記撮影データを前記無線通信手段に受信させ、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて前記表示手段に映像を表示させる手段

として機能させることを特徴とする表示装置の制御プログラム。

【請求項１１】

請求項９または１０に記載の制御プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

上記目的を達成するために、本発明は、撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により送信する第１無線通信手段とを有する携帯型機器と、前記携帯型機器から送信された撮影データを受信する第２無線通信手段と、前記第２無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段とを有する表示装置とを備える情報機器ユニットにおいて、前記表示装置は、ユーザによって操作される操作子と、前記操作子が操作された場合に、前記第２無線通信手段を制御して、撮影データの送信要

求を前記携帯型機器に向けて送信させる表示側制御手段とを備え、前記携帯型機器は、該携帯型機器を携えたユーザに危険が生じたことを検出する危険検出手段と、前記第1無線通信手段が前記表示装置から送信された送信要求を受信した場合に、前記第1無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記表示装置に向けて送信させると共に、前記危険検出手段により、前記ユーザに危険が生じたことが検出された場合に、前記第1無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記表示装置に向けて送信させる携帯側制御手段を備えることを特徴とする。

この情報機器ユニットによれば、携帯型機器の第1ユーザが、当該携帯型機器を操作せずとも、第2ユーザが表示装置を操作すれば、当該表示装置の表示手段に携帯型機器によって撮影された映像が表示されるため、第2ユーザは、この映像に基づいて第1ユーザが現在どこに居るのかや、また、こういった状況になっているかを容易かつ迅速に確認することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また上記目的を達成するために、本発明は、撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により外部装置に送信する無線通信手段とを有する携帯型機器において、該携帯型機器を携えたユーザに危険が生じたことを検出する危険検出手段と、前記撮影データを送信すべき旨を示す、前記外部装置からの送信要求を前記無線通信手段が受信した場合に、前記無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記外部装置に向けて送信させると共に、前記危険検出手段により前記ユーザに危険が生じたことが検出された場合に、前記無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記外部装置に向けて送信させる制御手段とを備えることを特徴とする。

ここで、前記撮影手段により撮影が行われている間、撮影中である旨を周囲に向けて報知する報知手段を更に具備する構成が望ましい。この望ましい構成によれば、撮影動作を行う場合に、撮影中であることが周囲に報知されるため、例えば不審者等がユーザに近づき難くなり、犯罪を予防することが可能となる。また例えば、ユーザが当該携帯型機器により悪意をもって周囲の撮影行為を行ったとしても、その周囲の人が撮影行為に気づくことができ、これにより、悪意のある撮影行為を防止することが可能となる。なお、撮影動作の報知は、表示や音等で行う態様が有り得る。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

ここで、前記危険検出手段は、周囲の音を集音して音声データを出力する集音手段を備え、前記音声データに所定の音声パターンが含まれているか否かに基づいて前記ユーザに危険が生じたことを検出する構成が好ましい。また、前記危険検出手段は、前記ユーザの体動を検出する体動検出手段を備え、前記体動検出手段により検出された体動に基づいて前記ユーザに危険が生じたことを検出する構成も好ましい。

かかる携帯型機器によれば、表示装置からの送信要求が無くとも、撮影動作を開始して、撮影データを表示装置に送信するため、携帯型機器のユーザの危険を、表示装置のユーザに迅速に通知することができる。なお、携帯型機器は、リスト型の機器として構成することが可能である。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

上記目的を達成するために、本発明は、外部機器から送信された撮影データを受信する無線通信手段と、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段とを有する表示装置において、ユーザによって操作される操作子と、前記操作子が操作された場合に、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させると共に、当該送信要求に応じて前記外部機器から送信された前記撮影データを前記無線通信手段に受信させ、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて前記表示手段に映像を表示させる制御手段とを具備し、前記ユーザの認証を行う認証手段を更に備え、前記制御手段は、前記認証手段により、ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させることを特徴とする。

この構成によれば、表示装置を操作するに際して、個人認証を行う構成としたため、正当なユーザだけが当該表示装置を操作可能になり、不当な者に表示装置が操作されるのを防止することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

また、上記目的を達成するために、本発明は、撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により送信する第 1 無線通信手段とを有する携帯型機器と、前記携帯型機器から送信された撮影データを受信する第 2 無線通信手段と、前記第 2 無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段、及び、ユーザの認証を行う認証手段を有する表示装置とを備えた情報機器ユニットの撮影データ伝送方法において、前記表示装置が、ユーザによって操作される操作子が操作された場合に、前記第 2 無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記携帯型機器に向けて送信させる第 1 ステップと、前記携帯型機器が、前記表示装置から送信された送信要求を前記第 1 無線通信手段が受信した場合に、前記第 1 無線通信手段を制御して、前記撮影手段による撮影データを前記表示装置に向けて送信させる第 2 ステップとを有し、前記第 1 ステップにおいては、前記表示装置は、前記認証手段によって、前記ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記携帯型機器に向けて送信させることを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

また上記目的を達成するために、本発明は、撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により外部装置に送信する無線通信手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する携帯型機器の制御方法において、前記撮影データを送信すべき旨を示す、前記外部装置からの送信要求を前記無線通信手段が受信する第 1 ステップと、前記認証手段により前記ユーザが正当なユーザであると判断されている場合に限り、前記無線通信手段によって前記送信要求が受信されたときに、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部装置に向けて送信させる第 2 ステップとを具備することを特徴とする。

また上記目的を達成するために、本発明は、外部機器から送信された撮影データを受信する無線通信手段と、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する表示装置の制御方法において、前記認証手段により、ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記ユーザによって操作される操作子が操作された場合に、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させると共に、当該送信要求に応じて前記外部機器から送信された前記撮影データを前記無線通信手段に受信させ、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて前記表示手段に映像を表示させることを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また上記目的を達成するために、本発明は、撮影手段と、前記撮影手段から出力された撮影データを無線通信により外部装置に送信する無線通信手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する携帯型機器を制御するための制御プログラムにおいて、前記撮影データを送信すべき旨を示す、前記外部装置からの送信要求を前記無線通信手段に受信させる手段、及び、前記認証手段により前記ユーザが正当なユーザであると判断されている場合に限り、前記無線通信手段によって前記送信要求が受信されたときに、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部装置に向けて送信させる手段として機能させることを特徴とする。

また上記目的を達成するために、本発明は、外部機器から送信された撮影データを受信する無線通信手段と、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて映像を表示する表示手段と、ユーザの認証を行う認証手段とを有する表示装置の制御プログラムにおいて、前記認証手段により前記ユーザが正当なユーザであると判断された場合に限り、前記ユーザによって操作される操作子が操作された場合に、前記無線通信手段を制御して、撮影データの送信要求を前記外部機器に向けて送信させると共に、当該送信要求に応じて前記外部機器から送信された前記撮影データを前記無線通信手段に受信させ、前記無線通信手段により受信された撮影データに基づいて前記表示手段に映像を表示させる手段として機能させることを特徴とする。

上記携帯型機器の制御プログラムまたは表示装置の制御プログラムは、電気通信回線を介して一般ユーザに配布されたり、CD-ROMや、フロッピー（登録商標）ディスク、光記録ディスクといった、コンピュータに読み取り可能な記録媒体に格納される等して、一般ユーザに配布される、といった実施の態様が有り得る。